

センター長の年頭所感



安保 正一

コンソーシアム会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。日頃は大変お世話になっておりましてありがとうございます。2012年の年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当センターに関する昨年の主な出来事を振り返ってみますと、3月に2棟の研究施設が竣工し、4月にオープニング記念式典を挙行了しました。そして、C20棟での技術開発系ならびにC21棟での4品目実証栽培系の共同研究がスタートしました。オープニング記念フォーラム(6月)やFOOD TECH2011出展(9月)などを経て、11月には第1回アドバイザリーボード会議を開催し、各界の有識者の方々から貴重なアドバイスとエールをいただきました。またこの間、新聞・雑誌・テレビなどメディアへの情報発信も55回を数え、施設見学をいただいた方は先日に4,000名を突破しました。そして何より、2010年6月に65社でスタートしたコンソー

シアム会員企業数が現在では120社とほぼ倍増いたしております。これもひとえに会員皆様のご理解、ご協力の賜物と厚く感謝申し上げる次第でございます。

本年も引き続き会員企業の皆様との共同研究で研究成果と実績を生み出していくとともに、震災復興をはじめ社会システムとしての植物工場プラント整備支援や第三者評価・認証システムを活用したブランド強化等に取り組み、完全人工光型植物工場におけるナショナルセンターとして社会課題の解決、地域活性化に寄与していきたいと考えております。

当センターの運営について、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって実り多い年となりますよう、心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

植物工場研究センター長(理事・副学長)
 安保 正一

☆ TPAC-PPS 人工光型植物工場生産物および生産システム第三者評価 始動!

作物栽培は天候や病害など栽培条件に大きく依存することからその品質や安全性について標準的な評価を行うことは不可能とされてきました。しかし、当センターで実証しておりますように完全人工光型植物工場による作物生産では、そのプロダクト、生産設備および管理方式などのそれぞれについては技術的にそ

の標準評価が可能です。そこにスポットを当てたのが植物工場に造詣が深く第三者評価でも実績が豊富な私たちのコンソーシアムメンバーNPO法人イー・ビーイングさんです。まさに農業における革新的取り組みであると思います。

副センター長 村瀬 治比古

この度、人工光型植物工場で栽培されたレタスやアイスプラントをはじめとする野菜の第三者評価・認証を開始いたします。

TPAC-PPSのメリット

- ・ 野菜の安全・安心が見えます
- ・ 野菜の付加価値が見えます
- ・ 生産システムの効率化や、作業者にとっても快適な環境整備につながるものです

何をやるの?

- ・ 人工光型植物工場で作られた野菜について、安全・安心を中心に評価・認証します。
- ・ 野菜の付加価値となる、機能性や栄養面でのメリットを評価します。
- ・ 野菜だけでなく、再現性確認のために生産システムも評価します。
- ・ 評価は、斯界の権威の方々を知見を委員会で討議し、基本的に全員一致で結論を出します。

TPAC-PPSとは、Third Party Accreditation Committee on Products and Product System -生産物および生産システム第三者評価委員会-の略称で、特定非営利活動法人イー・ビーイングが主宰するものです。

第三者評価は、2005年にシステムの構築にあたり、中央青山サステナビリティ認証機構(当時)の審査を受け、透明性・公平性・独立性の3原則をもって運営する第三者評価機構として認定されて以来、土壌第三者評価などで実績を重ねています。

TPAC-PPSでは、環境、安全・安心、ユニバーサル性、社会性という4分野について、生産物及び生産システムの評価を行います。

認証を受けると・・・

- ・ 認証書(ゴールド認証・シルバー認証・ブロンズ認証)を発行します。
 ⇒業者間で、また消費者に対し、認証書が安全・安心の証明となります。
- ・ ゴールド認証を受けた野菜は、TPACマークを商品毎に添付することができます。
 ⇒TPACマークは安全・安心が保証された、付加価値の高い野菜のマークとして、消費者に他の商品との差別化を一目で伝えます。
 QRコードをつけているため、TPACの内容をすぐ確認することができます。
- ・ TPAC-PPSの説明や認証を受けた企業の情報は、TPAC-PPSのホームページから発信します。

申込みから認証まで

1. 事前相談
2. 申込みと打合せ
3. 検査機関による野菜と養液の検査
4. 必要書類の提出
5. 再現性の確認
6. とりまとめと評価委員会
7. 認証



人工光型植物工場生産物および生産システム第三者評価をご活用ください。

特定非営利活動法人 イー・ビーイング 理事長 井上 健雄
<http://www.e-being.jp/>

当センターが堺北花田阪急に期間出展します! 2012年1月20日(金)~22日(日)

上記3日間限定で、堺北花田阪急に出展します。植物工場ミニモデルの展示とあわせて、株式会社シティホテルサンブラザ

さんとコラボし植物工場産レタスを使ったホットサンドを販売する予定です。お近くの方はぜひお越しください。

出展日時 : 2012年1月20日(金)~22日(日) 10:00~20:00

出展場所 : 堺 北花田阪急 1階 食料品催場 (大阪府堺市北区東浅香山町4丁1-12イオンモール堺北花田内)

堺北花田阪急URL : <http://www.hankyu-dept.co.jp/kitahanada/>